



北里大学同窓会栃木県支部

2012年11月10日発行

北里大学同窓会栃木県支部新年会のお知らせ

静かな夜長に秋の深まりを感じる今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。

さて、来年も新春の初顔合わせを兼ねまして、新年会を下記のとおり開催致します。新年の抱負などを語り合いながら新たな年をスタートできればと考えております。

つきましては参加不参加を12月21日(金)までに同封の葉書で返信して下さい。急に参加出来るようになったり、予定が変わって参加出来なくなった場合には、下記の返信先アドレスまでメールして頂けると幸いです。

当日はゲーム(景品付き)などを考えております。ご多忙中誠に恐縮ではございますが、皆様のご参加をお待ち申し上げます。

幹事 栃木県立がんセンター
須藤、小倉、中野

記

日時: 2013年1月11日(金) 18:30~

場所: THE FLAIR BAR (ザ・フレアバー)

予算: 40歳未満3,000円、40歳以上5,000円

返信先: yuksudou@tcc.pref.tochigi.lg.jp

〈お店情報〉THE FLAIR BAR

住所: 〒320-0803 宇都宮市曲師町1-5

TEL: 028-633-6300



Relay for Life とちぎ 2012 in 宇都宮

支部長 滝 龍雄

去る、9月15日(土)から16日(日)、栃木県で始めて開催された「Relay for Life とちぎ 2012 in 宇都宮」に、栃木県支部として参加しました。

「Relay for Life (RFL)」は、全国各地でがん患者さんを支援する集いとして開催されていますが、栃木県では未だでした。8月4日に開催された運営委員会で、今回の「RFL とちぎ 2012 in 宇都宮」の発行母体である栃木県立がんセンターの飯野望さんから「RFL とちぎ 2012 in 宇都宮」についての紹介と協力依頼があり、その場で、栃木県支部としてその趣旨に賛同し、出来るだけ協力することを約束し、パンフレット広告の他に、24時間リレー・ウォークにも参加する事にしました。



(スタート前にテントの前で)

何分、参加決定から当日まで約40日と短かったので、準備は急を要しました。早速、大学に北里研究所100周年・北里大学50周年記念の北里マークの使用許可を得、更に幟を借り、横断幕を作成しました。塚原訓子さんを

隊長として参加したリレー・ウォーク「北里大学同窓会 栃木県支部」チームの参加者を募りました。リレー・ウォークの参加者集めは、準備期間が短かく9月の連休中で皆さん予定もありましたが、福田陽子さんの驚異的な尽力で、何とか当日を迎えることが出来ました。

当日、会場の宇都宮城址公園には、午後の開会式の遙か前に、塚原隊長と最愛のご主人が会場のテント等の準備に来られ、開会式が始まる頃には参加者も集まりました。会場には多くの参加団体、協賛団体のテント、更には模擬店やリハビリの体験コーナーなどもありました。

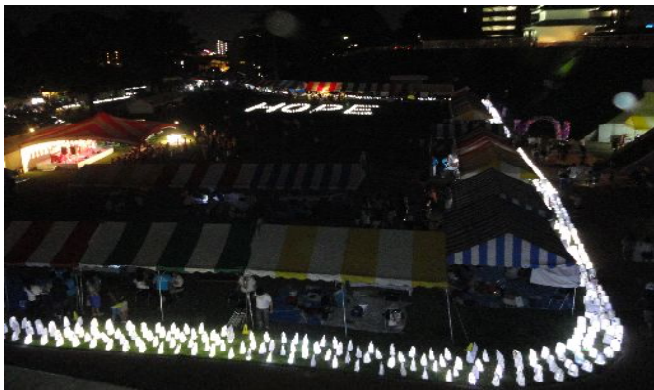
支部会員の小野崎卓子さんもサバイバーとして、2人のお嬢さんと参加され、午後1時の実行委員長の開会宣言の後、24時間リレー・ウォークもスタートです。

リレー・ウォークには、「メイク・ア・ウィッシュ・オブ・ジャパン栃木地域会」、「星の家」、「チャイルド・ラインとちぎ」の方々にも参加して頂きました。



(テントの前で大学の幟と共に)

リレー・ウォークの最中もがんに関連した講演会や音楽の演奏・コーラスなど様々な企画があり、サバイバーの方々や参加者も楽しい一時でした。午後7時から、「がんを患っている人を励まし、また、がんで亡くなった人を偲ぶために」思い思いのメッセージや絵を書いたキャンドルを点火するルミナリエが始まり、会場は荘厳な雰囲気になりました。リレー・ウォーク中、一天俄かに掻き曇り、雷雨の兆しがありましたが、会場はホンの一瞬、強い雨が降っただけで参加者の熱い思いが通じたと感じました。



(ルミナリエの明かりが灯り、「HOPE」の字も)

16日のお昼から閉会式が始まり、主催者より参加者等の発表がありました。サバイバーは214名、チームは158チームで個人参加者は936名に達しました。更にルミナリエには3,000名が参加し、寄付金は79万円近くになったそうです。

栃木県での「RFL」は今年が最初ですが、このような企画は継続することに意味があります。北里大学の同窓会栃木県支部は、企画が続く限り協力して行きます。

当日、テントに掲げた北里大学の青い幟を見て、「私も北里大学の卒業生です。」と挨拶に来てくれる方もおり、大学の宣伝にもなったと思います。

夜通し交代で歩き続け、タスキを繋ぐことが出来ましたが、リレー・ウォークにご参加頂いた皆様には心からの御礼を申し上げます。本当に有難う御座いました。

私達は、来年以降もがん患者の皆様を支援するためリレー・フォー・ライフに参加します!!

リレーフォーライフとちぎ 2012 in 宇都宮

飯野 望

2012年9月15日(土)正午から翌16日(日)の正午までの24時間、がん患者支援チャリティーイベントのリレーフォーライフが宇都宮城址公園において開催されました。

「がん患者さんは24時間がんと闘っている。彼らを称えようではないか」という主旨のもと、がん患者さんと24時間共にし、がん制圧のための募金活動を行いました。栃木県内では初のリレーフォーライフでしたが、実行委員の心配をよそに大勢の方々が集い、大盛況のうちに終わりました。

北里大学同窓会栃木県支部もリレーチームとして参加し、24時間最後までタスキを繋ぐことが出来ました。



(歩き通したぞ!! これがゴールです)

塚原さん、滝さんには当日までの準備、福田さんにはリレー参加者のボランティアの招集など本当にお世話になりました。また24時間夜通しでチームを支えていただきましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。同窓会の方々にも朝夕にリレーに参加していただきました。リレーフォーライフのお誘いを運営委員会で急ぎ提

案したのは確か8月だったと記憶しております。さすがに24時間襷を繋ぐことは難しいだろうと半ば諦めていましたが、想像以上に同窓会の絆は熱かったですね。

来年も栃木県においてリレーフォーライフが開催されるようです。今回参加されなかった同窓生も、これを機に同窓会活動に参加されてはいかがでしょうか。共に汗流して、結束をさらに深めようではありませんか。

RFL in 宇都宮に参加して

小野崎 卓子

私は今まで「患者の会の一員」としてさいたまリレーフォーラムに参加していました。患者たちの参加は天候や体調の関係に左右され、体力的にも難しい面があります。それでも「まだ頑張っていますよ」という証に参加される方が多く、残念にも、ご本人でなく遺族の方が来られることも多々ありますが、その方々を偲ぶ場でもあります。そして会場を去る時には、「また来年も、来られるだろうか...」という思いを秘めながら「また来年お会いしましょう！」と、明るく別れてくるのが現実です。



(リレー・ウォークのトップを歩きました。)

さいたまでは、年ごとにボランティア・医療関係のチーム参加が少なくなっています。患者の会は多くありますので継続しておりますが、この数年はナイトウォーキングを中止しているのが現状です。

RFLは、私たちががん患者と医療現場の関係者が「がん征圧を社会に訴える」場です。患者以外の方々に参加していただく事が、私たちの望んでいる事です。このイベントの目標は「継続すること」ですので、ガンを知っている医療関係者の方たちの支えがないと、倒れてしまいそうになるのです。

in 宇都宮の初回目から、北里大学同窓会栃木支部で参加してくださいまして、本当に有難うございました。北里大学の青い旗がひるがえるテントを見て誇らしく思いました。大会参加を継続することは、現実的には大変難しい問題です。しかし、10年後も20年後もずっと「青い北里大学の旗」が会場にひるがえっている事を、皆様にお願ひしたいと思います。

支部講演会のお知らせ

支部長 滝 龍雄

日時：2013年6月29日(土) 午後4時(予定)

講師：岩手県立磐井病院臨床検査技師長
高橋幹夫先生

演題：「東日本大震災における感染制御支援活動から見たもの」



高橋先生は北里大学衛生学部産業衛生学科を昭和59年に卒業後岩手県に入職し、県立病院の臨床検査科に配属されました。臨床検査技師としての業務の傍ら感染制御認定臨床微生物検査技師(ICMT)として感染制御チームの一員として活躍されています。昨年3月11日の東日本大震災で壊滅的な打撃を受けた岩手県の沿岸地域の東日本大震災の被災地では一時、約40万人の被災者が避難所暮らしを強いられたが、衛生状態の悪化に伴う感染症リスクに備えて岩手医科大学などで「いわて感染制御支援チーム(Infection Control Assistance Team of Iwate; ICAT)」を立ち上げ、避難所にタブレット型端末を置くなどして症候群の把握に努めました。高橋先生はメンバーとして被災地を回り、避難所サーベイランスを行い、感染症の予防対策に尽力されました。

今回は、東日本大震災での医療活動、特に感染症予防活動を通して感じたこと、今後、同じような大災害に遭遇した時に必要な私達の準備態勢についての提言を話して頂きます。

高橋先生は学生時代には演劇部の部長をされ、その声の大きさと話題の豊富さ、話の内容の面白さには定評があります。現在は、岩手県のみならず、全国の臨床検査技師会の重鎮としてもご活躍されています。

「北里柴三郎」特別記念展鑑賞と懐かしの

相模原キャンパスを訪ねるツアー参加者募集

副支部長 福田容子

北里研究所創立100周年・北里大学創立50周年特別記念展「北里柴三郎—伝染病の征圧は私の使命—」と題する展覧会が学校法人北里研究所、相模原市教育委員会主催、北里大学同窓会、北里大学PPA、北里柴三郎記念会後援で11月10日(土)～12月16日(日)、相模原市立博物館特別展示室で開催されます。

栃木県支部では下記の予定で、「北里柴三郎」特別展と近年、変貌著しい相模原キャンパス見学ツアーを行います。大学病院新棟8階のレストラン「Foresta」で昼食を摂りながら、新病院の建設状況を上から見る事が出来ます。奮ってご参加下さい。

「北里柴三郎」特別記念展見学と
相模原キャンパスを訪ねるバスツアー
日程：2012年12月9日（日）
午前8時宇都宮駅集合、午後6時宇都宮駅解散
募集人数：先着20名
参加費：6,000円（バス代等含む）
申込み：滝まで（tatabox@kitasato-u.ac.jp）
詳細は、申し込みの方に追ってお知らせします。

栃木県支部 ホームページ開設秘話

天谷 仁一

去る6月1日に、栃木県支部の念願であったホームページ（HP）を開設いたしました。

<http://kitasato-tochigi.jimdo.com/>

「北里大学栃木県支部」で検索してください。）

運営委員会で開設が決定し、小職が担当を任せて頂いてから、約1年という長い期間を費やしてしまいました。

これには実は理由が2つあります。1つ目は、「すごいHPを作ろう!」と思ったこと。「トップページには動きをつけて、ブログ機能も付加し、スマホにも対応させて・・・」などとあれこれ思案し、Adobe社のCS6（というプロ仕様のHP作成ソフト）を知り合いから入手。

「よし!やるか!」と意気込んでみたものの、操作が複雑すぎて見事に深みにはまり・・・気付けばこの時点で数ヶ月経過。

ここで2つ目の理由がやってきます。「会社の移転」です。小職が勤務していた会社が、業務拡張のため急遽移転することになり（宇都宮→東京都千代田区）、移転前後の作業とお客様対応に追われる日々が続きました。住まいも東京に移したため、宇都宮で+開催される運営委員会にはほとんど参加できず、焦りが込み上げます・・・

しかし、このような状態の中、完成に漕ぎ着けたのは同窓会のネットワークによるものでした。既に支部HPを開設されていた、北海道支部の脇俊広様、長野県支部の佐々木強様に教を乞い、多岐に渡りアドバイスをいただいたことが大きな励みと原動力になりました。また、同窓会本部から栃木県支部専用のメールアドレスを付与いただき、HPに「問い合わせフォーム」を作ることができました。そして、いつも背中を押してくださった滝先生。この場をお借りしましてお礼申し上げます。

シンプルに見やすく、かつ栃木県在住の北里卒業生にとって有用なHPとなるよう、発展させていく予定です。是非ご覧になりご要望・ご意見を頂ければ幸いです。

北里大学同窓会栃木県支部の運営委員として、本支部の運営にご尽力頂きました滝田まり子さんが去る6月27日に急逝されました。本支部としては掛替えのない大切な方を失いました。本ニュースに、親しかった福澤英子さんの追悼文を掲載し、滝田まり子さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

合掌

栃木県支部支部長 滝 龍雄

滝田まり子さんを偲んで



（在りし日の滝田まり子さん。2012年5月）

6PP 福澤英子

滝田まり子さんは、平成24年6月27日逝去されました。脳内出血による57歳のあまりにも早い旅立ちでした。

私がまり子さんと知り合ったのは、平成21年9月の北里大学同窓会栃木支部の総会・懇親会の時でした。同じ市内に住む者同士すぐに親しくなれたのです。まり子さんとの出会いは、大学や同窓会の存在が遠かった私に白金や相模原を思い出させてくれただけでなく、福祉の世界も覗かせてくれました。

まり子さんは卒業後、済生会宇都宮病院に薬剤師として勤務、国立病院の医師だった直人先生と結婚し、二人の男児の母親となって烏山に came ました。

烏山では、家庭を守りながら滝田医院と南那須地区最初の特別老人福祉施設である「敬愛荘」の薬剤師として直人先生を支えました。

平成18年4月「敬愛荘」の5代目施設長に就任され、職員80名を統括し100名を越える利用者の心を支え、対外的にも施設の顔として多忙な日々を過ごしておりました。穏やかで誠実な人柄、身についた優しさと気配り、いつも笑顔の「まり子先生」は、職員や利用者、そのご家族からも信頼され、頼りにされ、愛され、感謝されていました。

昨年春には、ご夫妻の念願だったグループホーム「さらい」を開所させ、増々この地の高齢者福祉の重要な担い手と期待されていました。

多忙なご夫妻の趣味は、写真と音楽でした。渾身の写真は滝田医院と施設のロビーを飾り、音楽は友人を交えてバンドを結成し施設の忘年会でコンサートを開き入所者を慰め、職員を慰勞しました。まり子さんはキーボード、ギターとボーカル担当の直人先生との深夜に及ぶ練習は、楽しい時間であったそうです。

8月、「敬愛荘夏まつり」が施設駐車所にステージとテントが準備されて開催されました。利用者、そのご家族、地域住民を巻き込んだ一大イベントです。最後を飾る花火を見上げながらまり子さんを偲びました。



(趣味の写真です。)

「まり子さん、あなたはどこで見ているの？」
心からご冥福を、お祈りいたします。



(支部会よりお送りしました。)

****支部会員リレー自己紹介****

皆さん始めまして

栃木がんセンター 高橋 良
今年北里大学を卒業し、北里大学OBの仲間入りをしました。卒業後は栃木県職員に採用となり、4月から配属先である県立がんセンターで勤務しています。仕事は診療放射線技師としてレントゲンやCTなど様々な検査を行っています。

鹿沼市で生まれ育ったため、一人暮らしと都会への憧れがありました。そのため大学受験では高校の担任に薦められるままに北里大学を受験しました。大学で栃木県を出たからこそ、就職は栃木でしたいと考えるようになったのだと思います。学生時代は部活にバイトに勉強にと忙しくも楽しい4年間を過ごしてきました。これからは仕事に興味にと社会人を謳歌していきたいと思ひます。

職場やホームページで北里大学の先輩方の栃木県での活躍を知りとても心強く思ひました。いつかは先輩方

と共に、栃木県の医療を支える医療人になれるように日々努力していきたいと思ひます。まだまだ未熟者ですが今後ともよろしくお祈りいたします。

自己紹介

中野真希

私はこの春、北里大学医療衛生学部医療検査学科を卒業し、現在は栃木県職員として、栃木県立がんセンターの検査技術部で病理検査業務を行っています。社会人1年生として日々勉強の毎日ですが、現在の職場は北里大学出身の先輩も多く、皆やさしい方ばかりなので、とても恵まれた環境で仕事をさせていただいています。

学生時代は病院奉仕団に所属し、大学病院の小児科病棟で季節の行事を企画したり、子ども達と遊ぶボランティア活動をしていました。ボランティアといっても、子供たちの笑顔に私自身が元気をもらうことの方が多く、4年間とても楽しく活動させていただきました。趣味はプラネタリウム鑑賞なのですが、栃木の星空はプラネタリウムよりも素晴らしく、庭に寝そべて星空を眺めることが現在の私の楽しみとなっています。

臨床検査技師としてまだまだ半人前な私ですが、新人らしく様々な事に積極的にチャレンジし、1日でも早く先輩方に追いつけるよう努力していきたいと思ひます。よろしくお祈りいたします。

栃木県支部ニュース原稿募集中

支部ニュースは、会員の皆様の交流の場です。皆に知ってほしい、教えたいという情報、こんな活動をしている卒業生が居る、私の自慢、近況等、原稿をお送り下さい。公序良俗に反しないものであれば内容は問いません。

送り先： 329-0434 下野市祇園 2-24-1 滝 龍雄

e-mail : tatabox@kitasato-u.ac.jp

編集後記：

去る6月末、新しい運営委員で栃木県支部の運営が始まり、早5ヶ月経ちました。RFLに初参加しましたが、北里大学病院も、神奈川大会に初めて参加しました。医療系総合大学である北里大学の卒業生としては、今回だけではなく、今後も継続してがん患者の皆様へ寄り添って行くことが重要だと思います。

今年は北里大学50周年・北里研究所100周年に因んだ企画がありますが、その一環として今、相模原総合博物館で「北里柴三郎」特別展が開催されています。衆議院議員選挙運動の真っ最中でもあり、皆さんお忙しいこととは思ひますが、この機会に、青春真っ只中の貴重な一時期を過ごした相模市を久し振りに訪れ、「北里柴三郎」特別展と変貌するキャンパスを見物しませんか？